

クローズアップ定例委員会

高山市議会では、毎月、総務環境委員会、福祉文教委員会、産業建設委員会の3つの常任委員会を開催し、市の重要事項について執行部から協議・報告等を受け議論を行うとともに、市政に関する調査研究活動を行っています。

今回は、4月～7月までの活動の中から、「新火葬場の建設候補地について」の議論の内容をお知らせします。

新火葬場建設事業の検証結果と今後の進め方について

昨年9月、市長が新火葬場建設事業のこれまでの経緯等の検証や課題を整理する方針を表明し、今年2月には所管の福祉文教委員会に検証状況が報告され、5月22日に、新火葬場建設事業の検証結果と今後の進め方について、福祉文教委員会で市側と協議を行いました。

○市の主な検証結果

- ・検討委員会は、十分な議論等を経て、基本構想に定める基本方針を実現するのにふさわしい複数の候補地を市に提案した。
- ・移動距離・時間についてはもう少し重く受け止めるべきであった。
- ・宗教法人が所有する土地であることについては市民の心情への配慮が十分ではなかった。
- ・葬儀の小規模化等、火葬場利用状況の変化に即した施設面積を再試算した結果、9,000㎡から6,500㎡に縮小可能であることがわかった。

○市の検証結果を踏まえた判断

検証結果を踏まえ、現候補地案（丹生川町大萱）を撤回し、現火葬場周辺地域（西洞町）を最有力候補地とする。

○市の最有力候補地（西洞町）の選定理由

- ・市街地の至近に位置している。
- ・施設面積の再試算結果を踏まえると面積不足は解消できる見込みである。
- ・基本構想に定める基本方針に概ね整合する。
- ・現火葬場は、火葬場がある場所として市民に広く浸透している。



高山火葬場

●福祉文教委員会における主な議論

主に以下の論点から多くの質疑を行いました。

- ・候補地選定に長期間を費やしてきた市の責任。
- ・基本構想に定める基本方針との整合。
- ・大萱候補地の住民や検討委員会の皆さんへの対応。
- ・西洞町候補地の住民の皆さんへの対応。
- ・西洞町候補地での建設に係る諸課題（アクセス道路、現施設を稼働しながらの建て替え、景観保全、用地取得など）。

●福祉文教委員会の主な意見

現火葬場周辺地域（西洞町）を最有力候補地とする方向で良いとしましたが、以下の点について十分配慮するよう市側に求めました。

- ・大萱候補地の住民や検討委員会の皆さんに対し、誠意をもって説明責任を果たすこと。
- ・西洞町候補地の住民の皆さんに納得いただけるよう、しっかりとした対応をとること。
- ・西洞町候補地での施設建設に係る課題解決に向け、綿密な検討を行うこと。

政務活動費の報告

政務活動費とは、地方自治法第100条第14項及び第15項の規定に基づき、議員の調査研究に資するために必要な経費の一部として交付されるもので、高山市議会では議会における会派（無会派の場合は個人）に対して、所属議員数に20万円を乗じた額が1年間の交付限度額として交付されます。なお、高山市議会は前もって交付するのではなく、後払い（精算払い）制を採用しています。

令和4年度の政務活動費交付実績は、市議会ホームページで公表しています。

市議会ホームページ
政務活動費へ

